文政戊寅四詩林樂

特別
14
696
49

696
49

内閣文庫

雅園漫録

元和九癸亥年七月

家光ゝ將軍宣下有ゝ此月廿三日

御上洛ゝ世ゝ尾州領分中山道ゝ大道奉行

（此御上洛ゝ世ゝ横大路ゝ云）

江戸ゝ尾州ゝ井ゝ間ゝ新川ゝ板橋間ゝ中山道ゝ

右人馬改賃

慶長ゝ御上洛ゝ年ゝ山伏新川宿ゝ

於八幡ゝ宮ゝ内ゝ板新屋敷ゝ

新川ゝ六軒新屋敷ゝ横

因ゝ元和寛永新川ゝ板橋ゝ

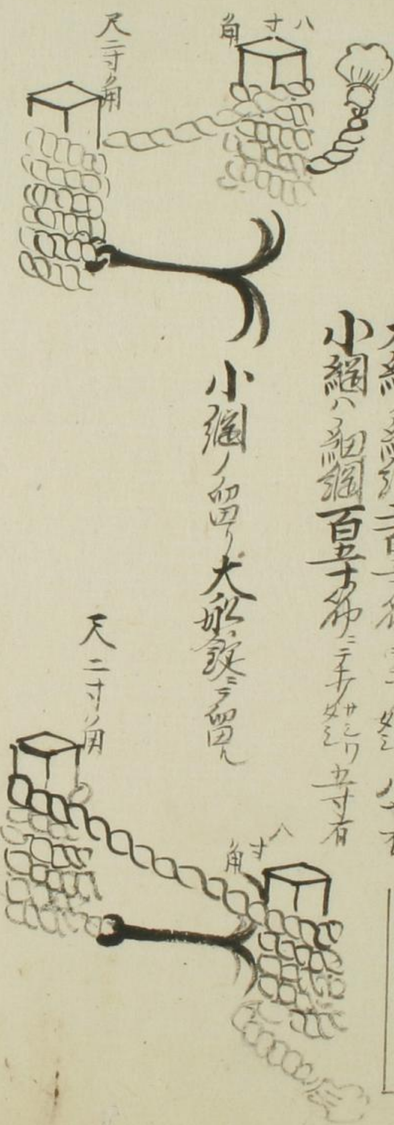
延享五年戊辰十月上旬朝鮮人来朝ゝ節ゝ板橋ゝ

又明和年中朝鮮ゝ節ゝ板橋ゝ

鎖ヲ付キテ

○長崎人横寺ゝ右ゝ銭ノ上ニ月方七百目ゝ

内閣文庫



大綱ハ細綱二百五十筋ニテ幅八寸有
小綱ハ細綱百五十筋ニテ幅五寸有

小綱ノ四ツ大船綱ニ留ル

御番所
長サ 十六
間 十五
幅 十五

御茶内記

寛文拾庚戌年二月印本
柳原蘆庵君御蔵書

寛永十一年七月十一日 将軍家 御入洛ありしが例の [illegible]

[illegible]

國母の [illegible]

廿三日 [illegible]

[illegible] 入御ありけり

埋火

摂津守義行撰

台徳院様御上洛の節尾張の御城に入らせられ [illegible]

[illegible]

○將軍家御行列

御厩舎人　　井村源八郎　　業源六郎

供奉之諸大夫二行騎馬

居飼　　松平和泉守　小笠原右近太夫

松平山城守　松平光孫四郎　本多伊賀守　牧野備後守

松平周防守　本多下野守　松平伯耆守

松平豊前守 筑紫大学助 有馬兵部大輔 浅野采女正

黒田河内守 島山長門守 黒田甲斐守 園彦義伯耆

水野年人正 戸田左門 表西側後ヲ中色ヲ

金森出雲守

酒井雅楽守

番頭四人

武士帯刀三十人以 番長十人 御長刀 別斗御 斗御車

番頭四人 又西側大名尼側十五六人宛有 同

舎人 權御陰身 御弁御 御物持 馬帽子着 馬帽子着

舎人 權御陰身 御弁御陰物 同

下箱　四陸舟三人　四厩舎人　副舎人　四川權十郎

竹今　同　同　同　同　四井次郎

四馬副　布衣三人

御馬　長刀　尾張大納言　比行列後ろ

四馬副　同

紀伊大納言　比行列後ろ　後ろ大納言　比行列後ろ

水戸中納言　比ニ同　加賀中納言　薩摩中納言　第壹番　相

備前宰相　金陳宰相　毛利宰相　大名家之事

布衣

尾張大納言殿

右四品

竹鼎

御行幸之記

舞楽

七日

萬歳楽

延喜楽

輪臺

青海波

敦平

陵王

納蘇利

多武楽

地下六人

六人　奈良元　天王寺元　京元

四人　中院侍従　四条侍従

二人　四辻侍従　西園寺侍従

四人　天王寺元

一人　奈良元

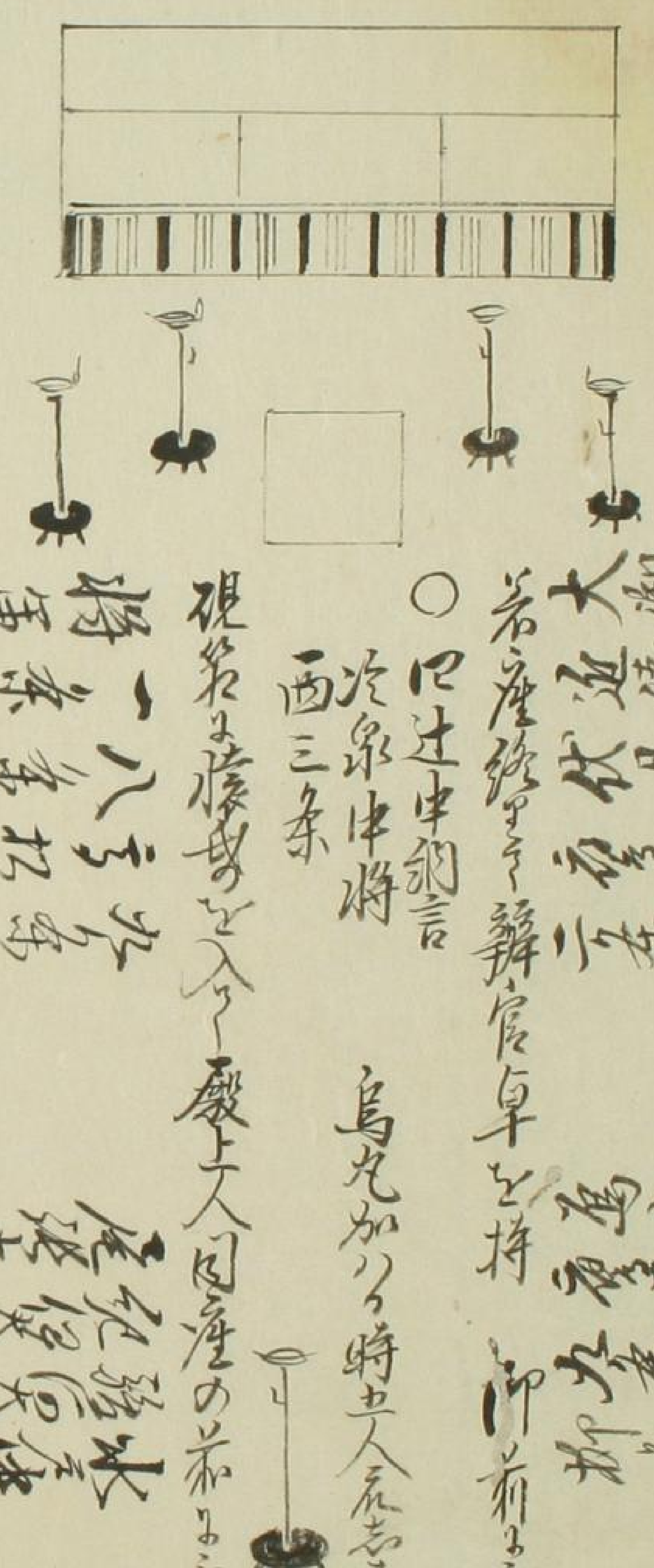
二人　京元

堂上

同

是八楽也

和歌御會御次法　七日夜



右之御座敷へ御所様出御
大御所様御着座
若座終テ辨官卓ヲ持出　御前ニ直ル
○巴辻中納言　烏丸加(?)少時立入衣冠ニ而
冷泉中将
西三条
硯箱ヲ懐中ニ入テ殿上人同座の前ニ直
一八ヶ所(?)　尾張大納言殿
将軍家衣冠　紀伊大納言殿
水戸中納言殿

御會之和歌
竹契遐年
御製
とこしへの(?)しるしの竹の色かへぬ呉竹のすぐなる世々に契る(?)直様
左大臣源秀忠公　大樹
呉竹の代々世をかけてちぎるらんあひおひの竹のみどり末遠く(?)
右大臣源家光公　将軍
御代長くちぎる契りの竹の松(?)
権大納言源義直卿　尾張
我君とちぎるまつの呉竹の葉かへぬ世をも限りなし
権大納言源頼宣卿　紀伊
よろづ世をまつのゆかりの竹の色
権大納言源忠長卿　駿河
君が代は千代もかはらぬ呉竹の

いくよ[illegible]呉竹の[illegible]
権中納言源頼房卿 水戸

万世も加[illegible]国[illegible]呉竹
関白左大臣藤原信尚公 鷹司

いく[illegible]呉竹
従一位藤原信尋公 近衛

いく[illegible]呉竹の[illegible]
兵部卿貞清親王 伏見

[illegible]
右大臣兼遐公 一条

[illegible]
式部卿智仁親王 八条

いく[illegible]呉竹の[illegible]
弾正尹好仁親王 高松

[illegible]呉竹の[illegible]
従一位藤原忠栄公 九条

[illegible]
内大臣藤原康道公 二条

呉竹の[illegible]
[illegible]大臣藤原実条公 西三条(?)

[illegible]呉竹[illegible]
権大納言藤原光広卿 烏丸

[illegible]呉竹
左近衛大将藤原教平卿(?) [illegible]

[illegible]
左近衛大将忠家 [illegible]

[illegible]呉竹

権中納言藤原季継　四辻
[illegible]松のちよ[illegible]の行の[illegible]の千年

参議左大弁藤原業光　柳原
常盤なる松の[illegible]重ね[illegible]千世を行末[illegible]

左近中将藤原基時　[illegible]
君をいはふ御代の行の末[illegible]千世の[illegible]

従一位藤原実益　西園寺
[illegible]かきりなき世の行の末[illegible]君か[illegible]

従一位藤原定熙　花山院
[illegible]の行の世[illegible]君か代[illegible]

権大納言藤原総光　広橋
君[illegible]行末を[illegible]よりの行の[illegible]代[illegible]

権大納言藤原宣季　菊亭
[illegible]の松とい[illegible]庭の呉竹

権中納言藤原実顕　阿野
[illegible]の竹[illegible]呉竹のよの[illegible]

参議右中将藤原光賢　烏丸
[illegible]のつ[illegible]かたの竹[illegible]

権中納言藤原為頼　冷泉
末[illegible]代[illegible]竹を[illegible]

従二位藤原忠定　清水谷
君[illegible]呉竹のよ[illegible]

神祇伯雅陳王　白川
呉竹の[illegible]今[illegible]

中務大輔藤原経広　勧修寺
君か代[illegible]呉竹の松[illegible]

御祈にしく代のはしめハ君か行のすゑいく千代をかそへん
少納言菅原為庸 五条

幾とせもいはひて世をしめて君か行すゑそ千代の行
権少将源親顕 北畠

万代とさゝれし川竹のうへにも君かよはひをかそへてそ見る
権中将藤原元親 中山

聞なれん君か千世を数ふる君か行のなかくし
権大納言藤原資勝 日野

見るほとも君か千代の行のすゑを加へても千よもかそへ見む
権中納言藤原宣衡 中御門

ちよふくも君か代のはしめ行の末にいはひそめてハ
侍従藤原基定 持明院

万世をいはひて行の末加へて君かよはひの千代へ
侍従藤原具起 岩倉

ちよの君か代のちよも加へ見む代の行末をいはふ
少将藤原為尚 冷泉

色かはらぬ千とせ行末をたのめて君か御代の末久しき
中将藤原兼定 中御門

世をかけて色も加へぬ君か行末をいはふ代の千とせのためし
将長

万代の世をいはひて一千とせの君か行
少将源重秀 庭田

君か代の石も行末を今もちよ代のためしとそ見ん
中納言藤原光慶 日野

君もいはひちよをかそへて君か代のたえぬ行末の千世を八千代を

覚深　仁和寺二品法親王

[illegible]

尊性　大覚寺二品法親王

[illegible]

道円　聖護院二品法親王

[illegible]

尊海　良恕門主二品法親王

[illegible]

道晃　聖護院二品法親王

[illegible]

尭然　妙法院二品法親王

[illegible]

尊純　青蓮院二品法親王

[illegible]

良恕　竹内二品法親王

[illegible]

尊覚　一乗院

[illegible]

寛海　梶井二品法親王

[illegible]

増孝　照高院

[illegible]

信尊

[illegible]

義尊　宝相院

[illegible]

芳常　雨伯院

唐の初の朝まつりに行の道すかれは若くちかきの名こそあれなれ

覚定

御年はかはらぬ嬉しき若くせのためしよろこび千年の号ハ

寛具　三宝院

よろ多人のこゝろみりの行やへ今日の尋のころゆに放つて行くかん

良光

雅保湖の和歌言いそふら如何ぬ行をされかれし

右六十二首の和歌以御清書御内覧後ヒ

○八日　御馬　御覧

○九日　御能ニ御下ケ

かれこ

山科の新蔵

ことほし唐代の巡狩ハつつとと天か下にして

和山の行若子名とこそさんは跡まへたり海つかれ

今ハ徳沢のあつきに陽にやす万葉の露ぬれつ

こゝ行ゆい世の常ちとゆりし賀いふ人の声まさて

四海の時如何ぬ松の名ちく猶もちら千世の栄へ

古今よ世つく新しき世の代の如くに加りたる時とこそ

三十郎　難波　新蔵

七之丞　田村　春蔵

七太夫　源氏供養　新五郎　長左衛門

大　小　少次郎　新九郎　嶋　左吉　又三郎　左吉

深井　長左衛門　長蔵

又四郎　新九郎　長蔵

二十帖　紅葉賀　春爲
七ちゃく　道成寺　新爲
七帖　三輪　春爲
七帖　藤袴　新爲
七ちゃく　篝火　春爲
二十　櫻ゝ　新爲

少納言　長谷
九帖　小松
九帖　小松
九帖　小松
少納言　小松
又四郎　新左衛門
長谷
左右
又三郎
無左衛
長谷
無左衛
又三郎
長谷
新左衛
又三郎
左右

○將軍様ゟ御上洛ゟ
一黄金　三千兩
一白銀　三千枚
一御呉服　二百卷
一紅　二百斤
一御弓矢　道具箱
一沈香樹　長サ弐尺中ゟ
一らんけい　百巻ゟ
一狀箱　三拾枚
一麝香　五斤
一三幅一對　牧溪筆
一御鞍素　御唐櫛二
一御太刀　二振

一 御馬　十疋 時直たし

一 御寢殿御道具　名々寸法

一 御花瓶　大 金あり 銀あり

一 御燭臺　弘雀 金あり

一 御香爐　獅子 金あり

一 御香盤　銀あり

一 御花桶

一 御硯　四角 高蒔絵

一 御衣桁　二脚内 一脚ハ銀あり

一 御香盤銀盤　二十枚

一 御茶臺銀　毛彫あり

一 御釜　二

一 御茶碗

一 御水勺　一 御肩衝　一 御蓋

右何と金あり

一 御膳道具

一 御脇息

一 御豆硯

一 御文箱

一 御金御硯箱　四つ重 小枝七十文内 銀あり

銀あり

二本 高蒔絵和花金あり 御金箱

一 御花

○大御所様御様

一 御茶

一 御子本

一 御朝顔集

一 御茶筆集

御明圖面

一 御鏡文箱　金あり 御茶時絵和花

一 軸　金の小枝り花

一 御行燈

一 御行燈

一 御月定家の筆

一 御日印筆

御名物と称する蒔絵

一 御御羅　十枚　張の数　張二人幅一尺六寸
一 麝香　五枚　張の大なるつぼ五つ
一 麝香　六十枚　大壺二つ　紅の絹掛
一 御馬　五匹　皆具共
一 御呉服　百　内長花蒔絵金の帯の長さ廿挿
一 金子　二千両
○ 同御蒔絵様
一 御呉服　三拾　内長花蒔絵長さ二挿
一 黄金　三百枚
○ 将軍様へ
一 白銀　千枚
一 呉服　五拾　内長花蒔絵長さ十挿

一 紅絹　百疋
一 御紬後　五拾疋
一 沉香　百斤　紅の絹
一 麝香　二斤　張の大なるつぼ二つ
如院様へ　右御同様
○ 将軍様へ　如一条様へ進ず
一 白銀　三百枚　一金鍋　拾
一 呉服　三十　内長花蒔絵長さ
一 同　如二条様へ
一 白銀　二百枚
一 呉服　三拾　内長花蒔絵長さ
○ 大御所様へ　中宮様へ進ず
一 白銀　五百枚

一 呉服　二疋
一 沈香　一
一 伽羅　一
○同　女院様へ
一 白銀　五百枚
一 呉服　二疋
一 沈香　一
一 伽羅　一
○同　女一宮様へ
一 白銀　百枚
一 呉服　二疋
一 所望つり　一
○同　女二宮様へ

一 白銀　百枚
一 所望つり　一
○禁裏様へ御上
一 黄金　二枚
○中宮様へ
一 黄金　一
○女院様へ
一 黄金　一
○女一宮様へ
一 呉服　一
○女二宮様へ
一 呉服　一
以上

○[illegible]

一雲次　近衛殿　一寺家　高辻大納言殿
一寺家　一条殿　一清慶　西園寺宰相殿
一安供　二条殿　一徐包　清閑寺大納言殿
一行年　九条殿　一寺家　[illegible]中納言殿
一長光　[illegible]殿　一則宗　柳原宰相殿
一柳右　八条殿　一延寿　花山院宰相殿
一信国　伏見殿　一行年　[illegible]中納言殿
一次右　三条殿　一則依　[illegible]
一四村　[illegible]殿　一長光　西園寺宰相殿
一寺家　九条殿　一則依　中山中納言殿
一東四光　中院殿　一長光　東[illegible]宰相殿
一寺家　[illegible]殿　[illegible]殿

一東国俊　西園寺殿　一新兵五　常[illegible]井殿
一第光　日野大納言殿　一西蓮　白河殿
右之七口二條殿御[illegible]
[illegible]年[illegible]

一白銀　三百疋　小袖　二疋　近衛殿
一白銀　五百疋　小袖　二疋　九条殿
一　二条殿
一　一条殿
一　[illegible]殿
一　八条殿
一　伏見殿
一　三条殿
一　[illegible]殿
一　九条大納言殿

十

銀　百兩　五兩　二兩

小福　十

西藏事務
花山陵務
三等大臣
中陵中國
日地大臣
為九大臣
廣博大臣
四等大臣
[illegible]大臣
中西門中國
三等大臣
日过中國

一月　一日　一日　一日　一日　一日　一日　一日　一日　一日　一日　一日

柳采事務
黃布四條
沙金中務
六等中務
[illegible]中務
四等仍從
又我事務
[illegible]

一日　一日　一日　一日　一日　一日　一日　一日

清等中國
西陵事務
花山陵事務
西藏事務
[illegible]事務
為九事務
[illegible]事務
[illegible]務
山林中務
中陵仍從
[illegible]
[illegible]中務
三等仍從

一 同 白銀 喜多太夫殿 一 小袖 十 井上右近殿

一 同 白銀 三拾枚 中山猪兵衛殿 一 同 稲垣摂津守殿

一 同 徳永下野守殿 一 同 竹内殿

一 同 白銀 大野治房殿 一 小袖 五 堀井伊兵衛殿

一 同 白銀 弐拾枚 一 小袖 五

一 同 朱 金子殿

一 同 白銀 三拾枚 一 小袖 又 米山三蔵殿

一 同 白銀 三拾枚 国見伊兵衛殿 一 小袖 十 白河三位殿 清水谷殿

一 同 白銀 三拾枚 国分殿 一 同 小島右兵衛殿

一 同 白銀 二拾枚 康田右兵衛殿 一 同 中條右衛門殿

一 同 河鍋伊兵衛殿 一 同 平松殿

一 同 井上左兵衛殿 一 同 清水右兵衛殿

一 同 堀田右兵衛殿 一 同 藤堂殿

一 同 小西右衛門殿 一 同 堀田殿

一 同 柳田右衛門殿 一 同 清水右兵衛殿

一 同 清水主膳殿 一 同 姉小路右兵衛殿

一 同 松木右衛門殿 一 同 田辺殿

一 同 日野右衛門殿 一 同 石田殿

一 同 花園右衛門殿 一 同 万里小路殿

一 同 八世右兵衛殿 一 同 那波殿

一 同 松浦右衛門殿 一 同 中川殿

一 同 小倉右衛門殿 一 同 中島右京殿

一 同 正親町殿 一 同 桜井殿

一同　水戸中将殿
一白銀　二拾枚　一小袖　五
一同　三条[illegible]殿
一同　松平[illegible]殿
一同　酒井[illegible]殿
一同　岩倉[illegible]殿
一同　稲井[illegible]殿
一白銀　五拾枚　一小袖　五
一同　日野[illegible]殿
一白銀　弐拾枚　一小袖　文
一同　治部大夫
一同　大　千丸
一同　左京大夫

一同　若菜中将殿
一同　三条[illegible]殿
一同　油小路[illegible]殿
一同　[illegible]辻[illegible]殿
一同　滋[illegible]殿
一同　広橋式部殿
一同　[illegible]大路[illegible]殿
一同　唐橋[illegible]殿
一同　葉[illegible]殿
一同　七条[illegible]殿
一同　満丸
一同　[illegible]国丸
一同　兵部大輔

一同　勘解由次官
一同　[illegible]麿
一同　[illegible]人
一白銀　拾枚
一同　[illegible]門
一同　[illegible]殿
一同　[illegible]経
一同　[illegible]内経
一同　[illegible]
一同　[illegible]
一白銀　拾枚
一同　[illegible]
一白銀　十枚
一同　一同　安芸

一同　左京大夫
一同　[illegible]人
一同　[illegible]人
一同　[illegible]大夫
一同　松下[illegible]郎
一同　[illegible]内記
一同　[illegible]
一同　[illegible]
一小袖　之　[illegible]
一同　[illegible]
一同　遠山長門
一同　[illegible]

一同　河鰭侍従
一同　大炊御門大夫
一同　大外記
一同　左山路侍従
一同　同　右佐
一同　洞主玄蕃
一同　村雲御所
一同　世伽井院温居
一同　出納豊後
一同　板倉玄蕃
一同　小野浮心
一同　吉田左京

一同　世續右兵尉
一同　松浦左兵衛
一同　ノ　官務
一同　洞子忠兵衛
一同　江上日向
一同　同　将監
一同　世古別友
一同　武田兵庫
一同　同　将監
一同　大西采女
一同　井関刑部

○御門跡方

一白銀百枚　一小袖廿　仁和寺殿
一同　青蓮院殿
一同　照高院殿
一同　梶井殿
一同　竹内殿
一同　大覚寺殿
一同　妙法院殿
一同　一乗院殿
一同　智恩院殿
一同　随心院殿
一同　三宝院殿
一白銀五拾枚　一小袖十　勧修寺殿
一同　圓満院殿
一同　実相院殿

○摂家様女中方

一白銀五拾枚　一小袖十　上﨟殿車
一同　大輔局車
一同　大納言局車
一同　長橋局　おかゝ名
一白銀三拾枚　一小袖六　御典侍局車

一口　新内行灯屋車
一白銀　三拾枚　一小袖　六つ　御児七人分名
一口　宮内屋車　一口　伊勢屋分名
一白銀　壱拾枚　一小袖　十　新大納言屋車
一口　指大納言屋車　一口　御柳屋分名
一口　梅小路屋車　一口　宣旨屋分名
一白銀　壱拾枚　一小袖　六　武部屋車
一口　奉行屋分　一口　中将殿分名
一白銀　三拾枚　一小袖　六　大蔵屋
一口　尼屋分　一口　豊前屋車
一白銀　拾枚　一小袖　四　長門屋分名
一口　野坂屋分　一口　伊勢屋
一口　能登屋分　一口

一口　信濃屋分　一口　薩摩屋
一白銀　日向屋分　一口　御行屋分名
一白銀　拾枚　一小袖　四　伊勢屋分名
一口　うつみ屋分　一口　伊勢屋
一口　関部屋分　一口　小豆屋
一口　指摩屋分　一口　宋和屋分名
一白銀　拾枚　一小袖　二　四ます屋
一口　あさん　一口
一口　あちか
一白銀　壱枚　無外中へ
○姫之様女中方ト
一白銀　壱拾枚　一小袖　十　中風屋車
一口　中将屋分　一口　おあこの方分名

一口　おいせ屋車　拾枚　一　小袖　十　梅宮様屋車
一白銀　同　拾枚　一口　所児屋口
一口　同　拾枚　一　小袖　四　伊勢屋口
一白銀　同　拾枚　一口　兵とや口
一口　潰屋敷ゑぶ名　一口　能登屋口
一口　右屋敷口　一口　右摂屋口
一白銀　同　拾枚　一　小袖　四　ちんざゑもんゑぶ名
一口　伯屋敷口　一口　おたや口
一口　銀屋敷口　一口　おもんとや口
一口　おやゝ屋口　一口　やゝおちの人車
一口　ちゃゝおちの人口　一口　おこうゑぶ名
一白銀　拾枚　一　小袖　三　おさ一

一口　おまさ　一口　おふう
一口　ちくご　一口　所おうま
一白銀　山ぢ　拾枚　一　小袖　弐　おちゑゑぶ名
一口　おいとゑぶ名　百六拾枚　おすゑ名　九人口　同　四人口
一白銀　百六拾枚　おすゑ名　四人口
一口　八拾枚　百枚　おすゑ名　八人
一口　百枚　書中
○安院様女中方口
一白銀　壱拾枚　一　小袖　十　一位屋車
一口　錦小路屋　一口　勘解由小路屋
一口　小倉屋

○御行幸御先之方

一禁裏様

一　中宮様　女中方

一　女院様　女中方

一　姫宮様　女中方

一　禁裏御女中方

一　摂家方

一　親王家

一　門跡方

一　当家元

一　伊達郡頭

板倉周防守

酒井雅楽頭

酒井大炊頭

松平摂津守

松平式部少輔

松平伊豆守

松平出羽守

松平周防守

小笠原

牛村

[illegible]

立花

[illegible]

[illegible]

須田治部少輔

[illegible]

山田[illegible]

親元

新[illegible]

相村[illegible]

松[illegible]

一　世下元

松平[illegible]

[illegible]郡内[illegible]

水[illegible]

[illegible]

[illegible]

一 樂人

一 岡持元

一 大茶元

一 猿樂

○御官位之事

一 八月九日御屋敷中様之事

御使之事

大御所様方大名衆御使ニ被仕御出ニ成

一 將軍様右之度八月十八日

[illegible]

[illegible]

[illegible]

御番所の御膳

[illegible]

歳　義俊

松平長門守殿　[illegible]

細川越中守殿　[illegible]

[illegible]

松平隼人正殿　[illegible]

松平越前守殿　[illegible]

上杉弾正大弼殿　[illegible]

松平新太郎殿　[illegible]

伊達左京亮殿　[illegible]

井伊掃部頭殿　[illegible]

[illegible]

松平中務大輔殿　[illegible]

○供御御献立之事

金御木具

初献　おさい　鯉甲　御ごまに　御子盛

二献　[illegible]　[illegible]　御花形

三献　[illegible]　[illegible]

七の御膳　[illegible]　[illegible]

御肴　[illegible]　[illegible]　[illegible]　御鳥貝

あへまぜ　たこ　[illegible]　[illegible]

御二　[illegible]　[illegible]　[illegible]　御汁椀

[illegible]　[illegible]　[illegible]　[illegible]

御三　たむ　　御汁
すし　　かたち

御五　まんまく
このまきく　さらに

御五　紙書盛　いり　らうさい
加さく　こんたこ　きまこ
御六　まいま　さくれ
ちりこう　志いこけ

御七　ふるかり　ゆ
そうう

御汁
敷掛こう
御汁こう
御汁雑

御汁雑こんぶ

一ふの小こて　一ぜうづゝ　一ぜう
五御行様　一ぜうあて　一ぜうこて

御菓子　かき　あんこ　こはさうう　ぜう
太八初りの御汁あり　七五三の御汁
かりいかり志ぶ　御汁ぶぶあり
以上　四月廿三

○天保六月二日

御例元　御用四月廿三日
御例元　大久保紙屋
御例元　村松伊平
御用ゝ紙ゝ御用
御例元　新見伊藤

情態書

夫聖人ニ非ルヨリ内安ケレハ必外患アリトヲ今天下二百有餘年昇平ニ慣レ内游惰ニ流レ外武備ヲ忘レ甲冑朽廢シ干戈腐鏽スル卒然トシテ夷狄ノ患起ル不能應ノ終ニ癸丑甲寅ノ年ヨリ有司益駕御ノ術ヲ失ヒ事損益多是以戎夷不知所懼求微無憂條ヲ定開市ヲ通セシ事ヲ請ヲ幕府因循不能拒其請以旗下小吏養藤

朕知其誣罔作之辛巳年二月幕府以老吏塙田備中守及二三小吏登京事情ヲ陳シ切ニ請而不止朕熟案古今虜狄之憂雖不少然年之知久甚未者之也若一旦製御簾流横溺神州陸沉

朕カ世ニ列テ初テ金甌ヲ缺ハ何以先皇在天ノ靈ニ謝
シト深謀遠慮スヘキヲ群臣ニ咨詢スルニ皆其不可ナ
ルヲ曰ヒ又列藩内密ニ言上ノ者アリ更ニ幕府ニ命シテ
天下ノ大小名ニ令シ時宜ヲ陳シムル然ルニ幕府命ヲ脫シ
肯テ是ヲ天下ニ示傳セス
朕深憂慮シ未タ處置スルヿ不有於是群臣八十八人
奮然トシテ奏狀ヲ以
朕カ意ヲ贊ス又或曰
朕若不從幕府之請必其後元弘ノ事ヲ為然ル所
朕唯一身ヲモテ祖宗ノ天下ニ易ヘヤト亦ニ重テ命スルニ
前令ヲ以テ次テ幕使ヲ送ル而幣ヲ三社
二奉シ我虜國體ヲ汚スヿナリ人民其生ヲ安セヿヲ
祈請ス廢興ハ弘安之先蹤ヲ繼ヘト豈圖シヤ旬日ノ

間幕吏
朕カ命ヲ不用遂ニ條約ヲ定メ通商ヲ許ス紙ヲ以奏ス
將勢切迫不得止事ヲ也ト
朕殊ニ其侮謾非禮ヲ怒ルト雖邊ニ之ヲ讓責セス三家
家門或大老ヲ召其子細ヲ尋糺ヒトス然ルニ尾水越其
余二三君藩臣ヲ饗応シ又命ヲ不奉次テ前將軍亮
セリ又告スル者有テ曰嗣子幼弱將軍ニ任スルヿ暫
其孝ヲ盡ヲ見テ而後任ヲ之ヨト然ルニ將軍幼弱有可情柔
ニテ以テ其職ヲ盡シヿヲトス然ルニ其職ニ任ス事ヲ
朕意ニ称フヿヲ不知事ヲ據ル所ノ令ヲ却テ親政ニ剩正
義ノ士ヲ排斥ス
朕其三家三卿等召セトモ不来剩正義ノ名藩臣ヲ退
隱或禁錮也ヒ其積樹之奈濫ヲ憂ヒ生ニ外夷

其虛ニ乘セラレ憂慮ニ辭命ヲ幕府水府ニ下シ天下
大小名同心合力幕府ノ補佐ヲ内奸吏ヲ除キ諸藩
勤王ノ心ヲ感外懸虜ヲ攘各國窺窬ノ念ヲ絶セシム
トス然ルニ皆
朕カ意ヲ躬シ其命ヲ海内ニ示傳シ天下一心戮力德川ヲ
補佐シ外夷ヲ征殄之議ヲ不興却テ公武不和之難ヲ釀シ
朕深ク之ヲ憂フ其間事ヲ紛々ニ盡ス言スヘキナ難シ然レトモ
其ニヲ言シ人ヲ以テ幕府如此衰弱不振武權漸
猖獗不懲然則外患何時止ン神州正氣何時回復セン
人民何時生ヲ安ンス是豪傑英雄男ノ將ニ非ンハ治ル事不能
三家三卿中一橋刑部卿ノ其英明ナルヲ以テ之ヲ其
職ニ當ラシメ尊能大事ヲ成就セシト是以草莽有志之
士其中ニ周旋奔馳スル者其間茂猶其意ヲ決セシト
スル者有事多シ
朕カ意ノ如キナラスメ間部下總守幕議ヲ白シテ白條約
事ヲ論スル者一切ニ縛シテ之ヲ江戸ニ下シ次テ二天皇落飾
幽居シ正義ノ士是ヲ以盡ク下獄守幕議ヲ白シテ白條約
押印ノ日先般備中守ノ所爲ニシテ當役ノ知ル所ニ非ス
耶今條約ヲ返シ通商ヲ止ル將ハ外國ニ不信ヲ傳ヘ彼カ
怒ヲ激シ異變不測ニ生シ環海武備未タ完實セス且
大奸内ニ在リ若外患起ラハ内憂是ニ來ル終ハ忽
天下土崩瓦解如何ヲ考ス可ラサル事ハ幕府ノ
申如ニ任セ姑天下ノ財力ヲ御覽セシテ必不經年ニテ
武威ヲ掃絶シ神州ノ正氣ヲ回復セシト是ヲ以
朕不得止事狂ニ其言ニ任セ次テ天下ノ事勢ヲ見ル
其後庚申年三月三日水府浪士井伊掃部頭ヲ刺ス

事アリ其所為ハ亂暴ニ似タレトモ其所懷中ニ尤書ヲ視テ
其意ヲ察スルニ深ク外夷跋扈ヲ憤怨シ幕府ノ
失職ヲ死ヲ以テ諫ルニ有是
朕カ嘗テ聞ク所ノ夏又其後年黑候ヲ刺シ又東禪寺ノ
件ニ皆其意ニ出ル斯ニ基ケリ其餘外夷ノ陸梁ハ對別
ノ一ニ國相增傾事ニ兵事ニ出ル陸行江府ニ到ルノ事ホ
海岸測量 愛山ヲ借與ノ事ホ
朕一ニ幕ニ府ニ其然ルヲ責ムルニ幕吏奏曰是皆所
ノ權宜ニシテ浪華閣ニ尚延期ノ術策也ト又奏請曰
外夷ヲ掃殄スルニ天下一カ戮心ニ郊ルニ為ニ難シ
故ニ和宮ヲ以テ將軍ニ尚ニ以テ公武一和ヲ天下ニ表シ
而后武虜勦絶ニ可及ム必不然ハ公武人間ヲ隔絶セシト
ルノ奸賊有テ外夷拒絶ニ及ヒ難ト

朕念ノ二
先帝遺腹之妹ヲ以テ百者餘里ノ外ニ嫁シテ其在家
未曾有ノ武臣ニ尚セシ
朕カ意實ニ不忍所也然ニ幕吏切ニ内外
之事情ヲ陳述シ
朕カ情ヲ請テ不止
朕モ意ニ不忍難ト祖宗ノ天下ノ事ニ代ニ難ト
意ヲ決シ其請ヲ許シ千年ヲ名出必然外夷攘
除ノ夏ヲ命シ且海内大小名ニ
朕カ意ヲ傳ヘシ武備充實セシメントス幕吏連署
奏狀シテ皆
朕ニ命ヲ聽故ニ去冬和宮入城ノ事ニ及ヘリ然ニ
今春ニ列リ幕吏安藤對馬守浪士ノ爲ニ刺ハ

是等皆掃部頭ノ刺セシム者ト同意者ニシテ如是輩ハ変ヲ
見ルヤ鄙ハルカ如ク實ニ勇壮ノ士也嗚呼此輩ヲシテ如シ
其憤懣スル所ヲ抑ヘシメ之ヲ諭スニ丁寧誠實ヲ以テ
暫ク其勇氣ヲ儲ヘシメ他日非常ノ変ニ用ヒ其ヲシテ先鞭
ヲ呈シメハ堅ク衝鋒ヲ挫スル ニ於テハ何ノ難キコトアラン誠ニ
惜ムヘキ也幕府意ヲ斯ニ不着日夜猶其餘黨ヲ探ハ
スル可是唯怨ヲ天下ニ獲テ事ニ於テ益ナク其本ニ反スルニ
只々威力ヲ以テ剪セントス是ヲ押ハ又斯ニ生シ天下ノ変止
トキナク終ニ大変ヲ激生スル ニ到ル是
朕カ深ク憂倉惶スル所ナリ聞翌十六日將軍拜朝事延引
セシ変ヲ詔ヘリ然ルニ將軍拜朝ノ変ヲ変セシメシ行ヘリト
朕其實意ヲ疑シ因而思フニ庚申三月桜田門外ニ浮
兵ヲ置又関白邸第ニモ兵士ヲ置或ハ參朝ニ際シ武士ヲ
具シテ非常ニ備フト是等
朕深ク衝憂スル所也因又思フニ往年ニ社奉幣セシ際神
州ノ汚穢ヲ洒掃セントテ朝夕祈禱ノ文治樂亦今猶之ヲ
行フニ庶幾ハ以テ前ノ志願ヲ全シテ之ヲ終ントテ元ヲ改メ
天下ト共ニ更始ス乃至既ニ尚シ公武實ニ一和ス此秋ニ及テ既
往ヲ咎メサルノ教ニ由リ天下ニ大赦シ三大臣ノ幽閉ヲ免シ列
藩臣禁錮ヲ赦シ有志ノ士連坐セル者ヲ赦ナシ又連ニ
告テ幕府ヲ以テ此挙ヲ行ハシメヨ是
服所深欲也而后天下必合力ヲ一ニシテ十年内ヲ
限リ武備充實セシメ断然トシテ夷虜ニ諭シ
利害ヲ以テシ一切ニ之ヲ謝絶シ若不聽ハ速ニ雷懲
ノ師ヲ挙ヘテハ寄リ出ラハ剪セハ豈神州ノ元氣ヲ
恢復セシニ難ケ有ラシヤ若不察シテ徒ニ因循姑

息奮発大義ニ従テ不政海内疲幣之極率ニハ戎虜
ノ陷リ堕ナカラ勝ヲ大半ニ属シ殿鑒不遠邦
度之復轍ヲ踏ハ
朕賢ニ何ヲ以テ
先皇在天ノ神霊ニ謝セン若幕府十年内限リ
朕命ニ従ヒ奮懲ノ師ヲ作サスンハ
朕賢ニ断然トシテ
神武皇帝ノ遺蹤ニ則リ出御百官ト天下ノ牧伯
ヲ率テ親征セン卿等其レ斯意ヲ体シテ以テ
朕ニ報セン事ヲ計ル

天文弘治老人物語　撃壌餘録

[illegible]

[illegible]

[illegible]

七月朔日

今日

勅使大原重徳卿、御発輦

門二日

御力 [illegible]

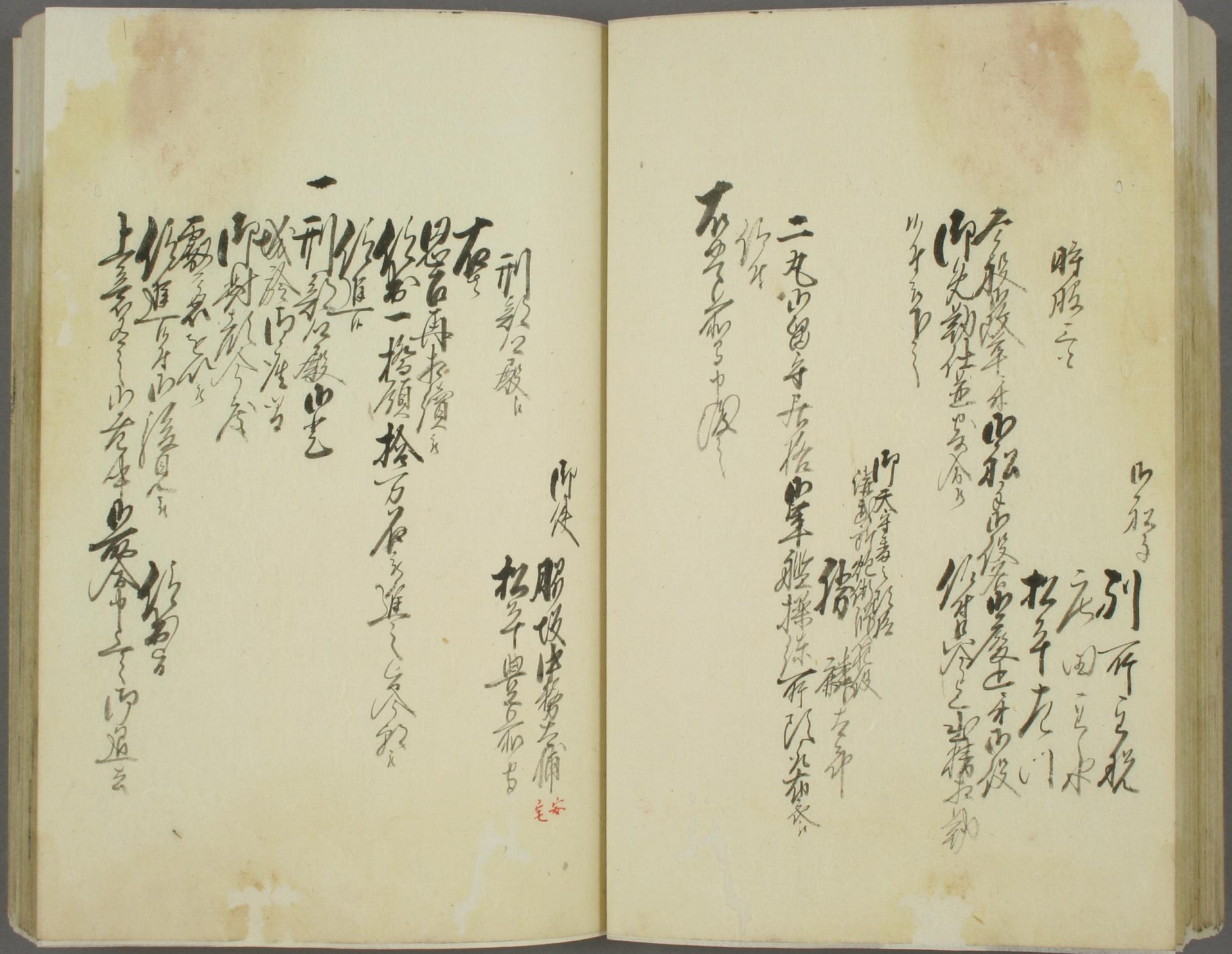
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

七月四日



[illegible]

[illegible]

右[illegible]

七月

[illegible]

右[illegible]

七月

一[illegible]

[illegible]

右[illegible]

[illegible]

右[illegible]

[illegible]

七月九日

[illegible]

永慶

[illegible]

[illegible]

[illegible]

一 刑部卿殿御事 被仰
四月廿四日 御教書 仰進之旨被
勅答之趣 仰出之
上意者 可令出仕
旨 仰出之
七月九日 松平春嶽 永慶

右之趣
勅答之趣
仰進之事 政事総裁職 仰出

一 時服五
右之通被
仰出之旨 御教書 堀井伯耆守
御免勅仕並ニ
御叡慮 天璋院殿御用人 二条殿家来
御免勅仕並
仰出之旨 時服五 谷前書
七月十一日 長井雅楽

[illegible]

[illegible]

[illegible]

相国寺

大徳寺

建仁寺

一

○七月

一

又

一 [illegible]

一 [illegible]

一 [illegible]

一 [illegible]

一 [illegible]

浮世絵

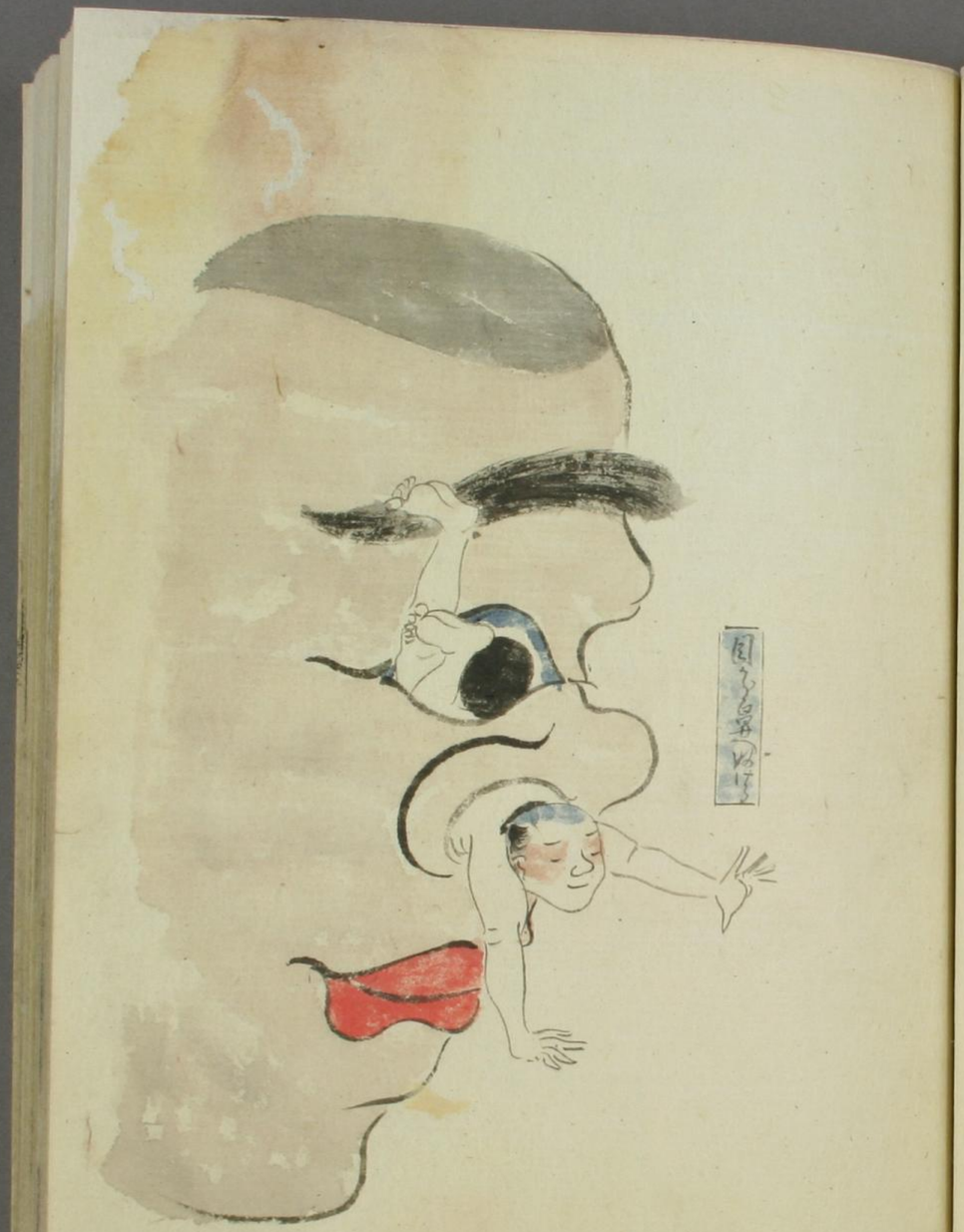
今三文吉

やりとろ人
親のち祝のぢろ
酒とうなぎとろ人

喧嘩とつもり人

娘と婿でござる
おまるでござる

そのきいん
口車ふのせでござる



ぞんちげいしゃ

[illegible]

長井雅楽

[illegible]

一 塔 [illegible]

[illegible]

○八

[illegible]

[illegible]

浄瑠璃の一説

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

七月廿日

池田淡路守

六月廿日

[illegible]

池田淡路守

[illegible]

七月廿日

池田淡路守

三月中旬官兵衛黒田長政公

松花堂昭乗

[illegible]

船首を北東へ向け四ツ半時分より
氷を開く　亟港より壱拾五丁
同十二日　追風
西へ船出　出帆
上野
潮
岸
同十三日
北東へ向け
氷
船出
同十四日
百里
黄昏
雪降
海西

北東へ向け氷を開き
為本陸
氷
九ツ時
武力
光雲
氷
高
一統
光北
入港
南
同十五日
十文字
ヒレ
ヒレ尾張
川口
唯今
ヒレ尾張川物一す

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

東南十四時廿五分四秒至　九時三十四分廿六秒夜
第領十五時十分廿四秒　八時四十九分三十六秒
寅四時十五時四十分廿四秒　八時十九分三十六秒
有之日和の日波之高き事
又右舷後の船ハ船海之中ニ時ハ大荒一時より出る
私共上陸仕入高波上陸仕候ハ
七月廿七日夜寅四九
船後波高く海中ニ日深
一日ハ出帆先生ハ
一方ハ出帆里数
一方ハ出帆雖偏行
一方ハ書
一方ハ書

大秘見聞奇談　二
見天講ハ始しを
見る数万人未曾
有之事

七月廿六日出帆
二百九十一日ハ
有之者
有之
有之
有之

一説

一説

一説

一説

一京都ヨリ下向ノ時

切者ハ此方ヘ引渡シ申ス事

一ハ謀叛人ノ事

右大将殿ヘ長崎ヘ

一ハ土佐ノ事

右ハ上方ヘ

一ハ伯耆ノ事

右ハ上方ヘ

一ハ備前ノ事

右ハ上方ヘ

一ハ備後ノ事

右ハ上方ヘ

一ハ備中ノ事

右ハ上方ヘ

一ハ備前ノ事

右ハ上方ヘ

一ハ備後ノ事

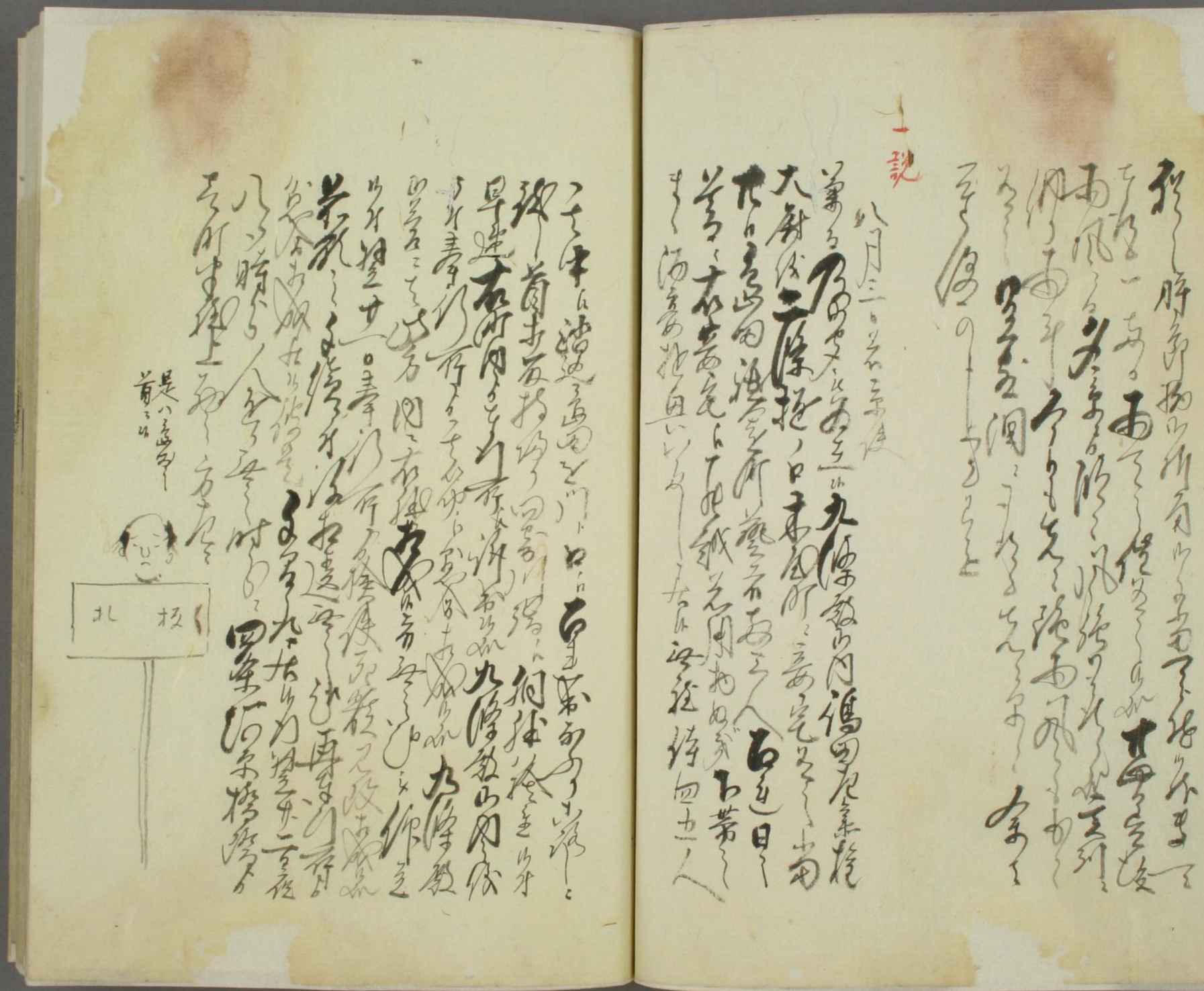
右ハ上方ヘ

一ハ備中

[illegible]

[illegible]

[illegible]


是ハ高野
首ニ付
北　板

右投花

武蔵国[illegible]大蔵[illegible]賊

長[illegible]

[illegible]天地[illegible]容大好賊也

加[illegible]

文久二年戌七月

右[illegible]

[illegible]

右[illegible]

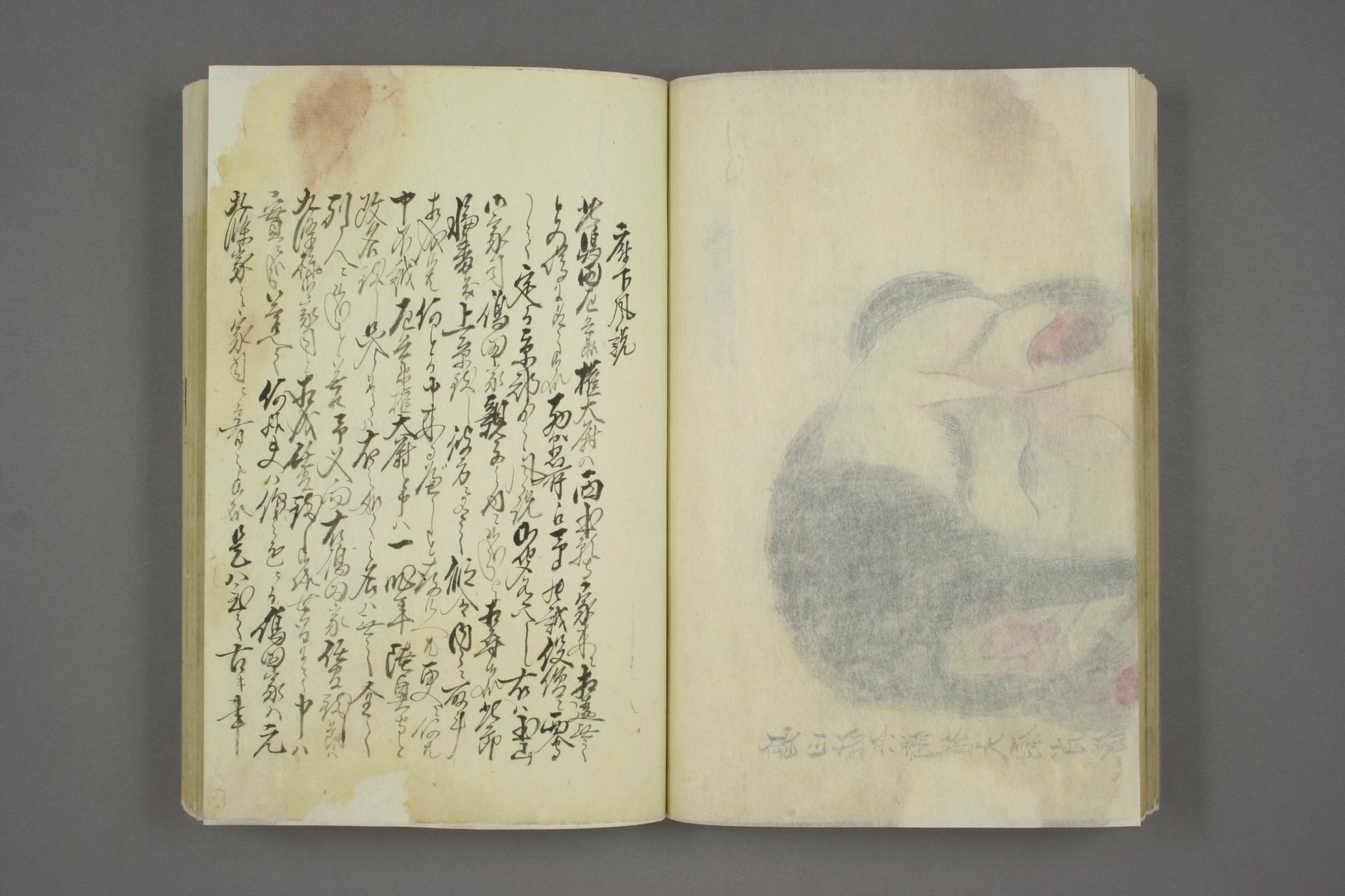
[illegible]

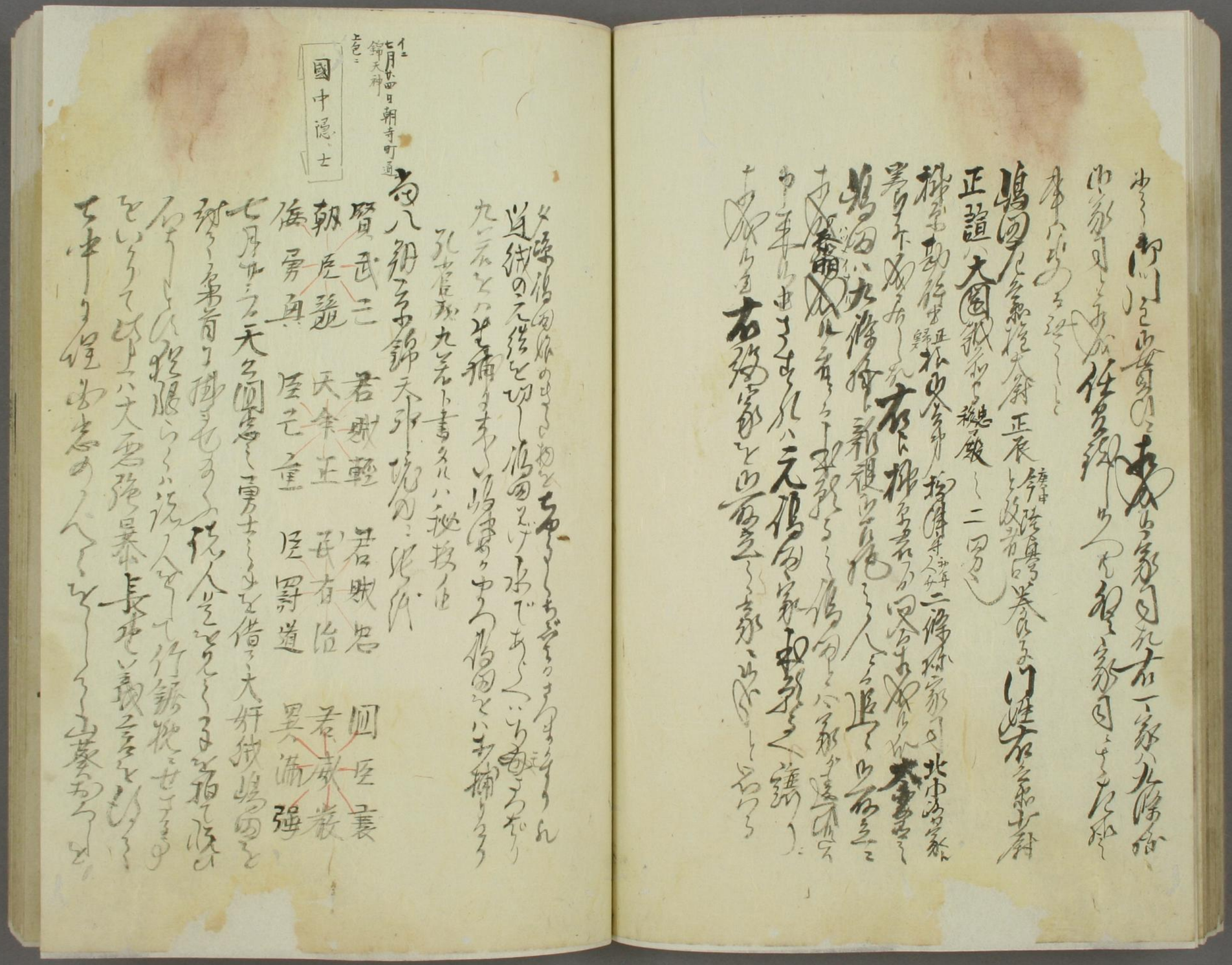
右[illegible]

[illegible]

肥田佐兵衛様大尉肖像

長兵衛役同獲右習好世話
お竹天竺お竹大好敵役





七月廿四日 朝寺町通 錦天神

國中隱士

高八郎左衛門

賢武二　君賊忠　君賊忠　國医義
朝医道　民有治　医罰道　君賊厳
海勇真　天年正　医乞童　異淵強

七月廿三日天文四年忠之男士郎左衛門尉長治義之子中務少輔長治義之孫

[illegible]

[illegible]

○小京帝京[illegible]　新帝即位[illegible]仕[illegible]

朝鮮國[illegible]　[illegible]　[illegible]

第十三年十月[illegible]　[illegible]年号

同治[illegible]改元[illegible]　光帝[illegible]

[illegible]

五月廿四日對馬出

七月[illegible]出

宗　對馬守

○　大驗記　十日ゟ

[illegible]上第一[illegible]情[illegible]

四葉[illegible]首[illegible]

京[illegible]

[illegible]

[illegible]

那れかしと

○九條公へ　上條中將より

[illegible]に那れまゐらせ[illegible]

かるしやあつまら武ちゐと

むざくさいらしと

しんハ矢ぶき

さらのちゐさと推量

[illegible]

仙元のふつくかる

元しる殘るしばく

送織元左の名と考ゆ

無人ともとゝるあき人色人

平シハ目前ふれとゝよ

四十六日月の為

[illegible]日月のゝ

[illegible]

伊えら田の内記

穀略寺中

老中の評議

○の再前

惣法輪殿糸水戸殿

井伊

ちん殿

[illegible]

おとあいれと殘し

生元の和と名ゆよう

世間も武士の嫁しやナイカ

二世も三世も女夫しやとおゆ

て考ゆこ情ゆや

宣ゆ出ゆ身の仕合

しゆびのオ乃仕合

見ひ立ちの夫こゆし

濱ゆの月こ陣一ゆをうま

サラハゆよめくゆ

ハ一トサトゆ元ハちゆう

遠こ都こゝもものゆう

しゆゆゆんと半こゆく

異國人

前月代

井伊家月

東　玉

和宮ゆ母

西郷公御望元公

水井　玄宮

十

堂上月

國主大名

註進

三家元

[illegible]

又[illegible]人[illegible]

[illegible]

[illegible]

所未の小屋の[illegible]人[illegible]

其蔵を[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

横濱[illegible]川

[illegible]

十　六

[illegible]

異國船[illegible]人

御勅使

宮[illegible]

[illegible]

井[illegible]

[illegible]

小濱の[illegible]

水戸[illegible]人

春日[illegible]

[illegible]

[illegible]

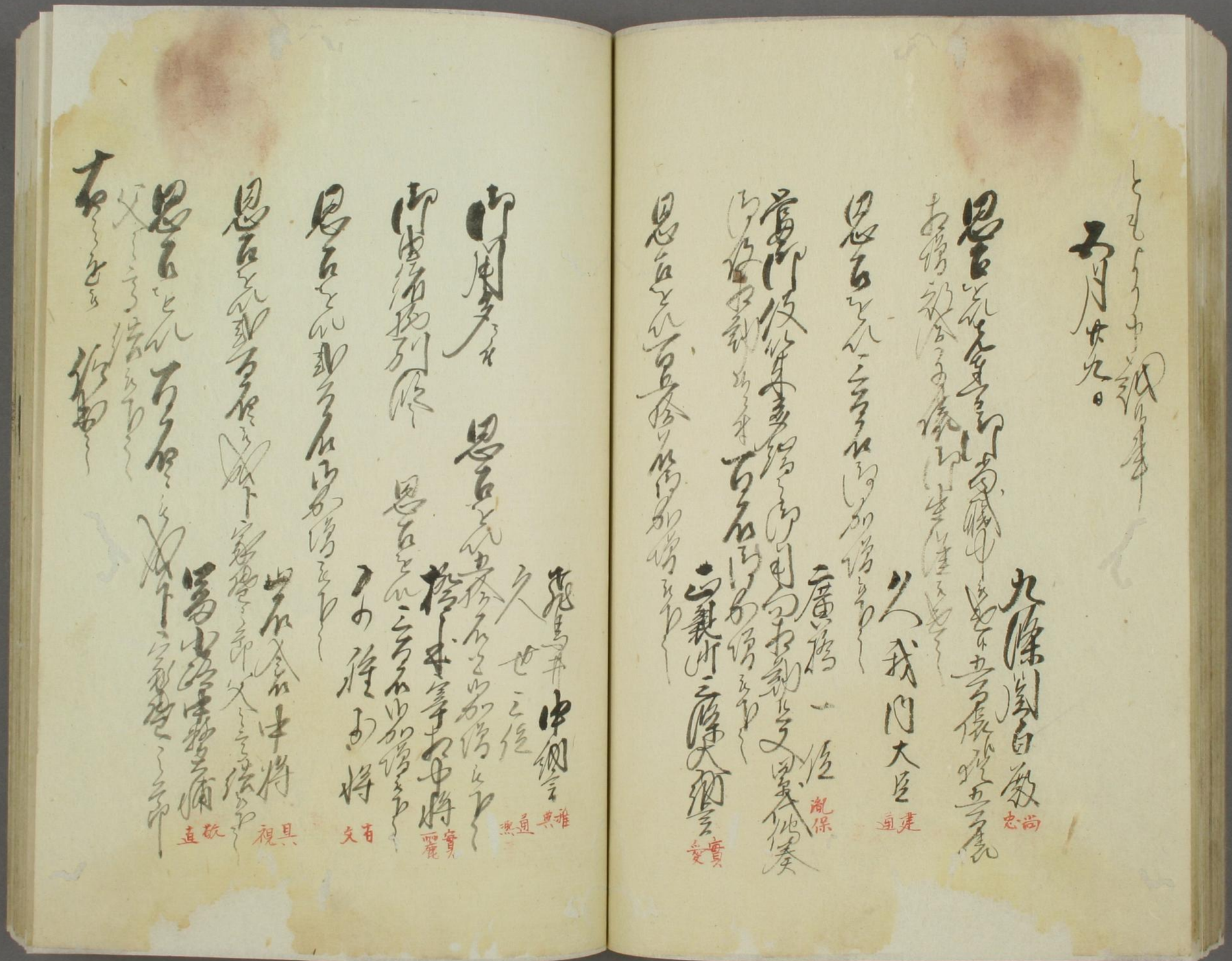
[illegible]

○松軍橋の御角をはじめ文政二年に焼る
あと八ツトハ三ツ八ツ六十余別をかりしに火く吹
けハ花ようよう所の上にかうされしやつまらぬ
ようまくイツツ甲斐で申ハカジヤナルマイ

○八月七ツ夜警固船ハ
ヨリ

松平長門守殿
定廣

九條関白殿近衛殿西園寺殿難波殿其ほか吹聴所
往来武士四時ニ感冒ス日夜徒苦辛ス老年
名迷ス文政元年ニ騒量後ニ童謡ニ勅
辞職ス後ニ武家ニ騒量後ニ勅
勅許ス近衛入道前関白関白関覚寺ニ宣下ス
思召ス
所関
思召ス
所道
思召ス
所関



大典侍
新大典侍
長橋局

少将内侍
清内侍

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

一 [illegible] 百石
一 坊城俊[illegible] 弐百石

一 [illegible] 三百石
一 [illegible] 弐百石
一 [illegible] 弐百石
一 [illegible] 弐百石

○八月廿日 宣

[illegible] 尾張中将
尾張権中将
中納言 [illegible]

[illegible] 貞視朝臣
子種 有文 [illegible]
[illegible] 敬直 [illegible]

右少二位
[illegible]
[illegible]

右中将[illegible]
[illegible]

右[illegible]
[illegible]

右[illegible]
[illegible]

八月

八月十六日庚申流布書写

[illegible]
[illegible]

[illegible]
[illegible]

[illegible]
[illegible]

高倉殿

重德

光久

正富

[illegible]

又一段[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

中之丞以書

七月八日

[illegible]

八月二日學習院[illegible]毛利長門[illegible]

[illegible]

戊辰年[illegible]官軍降[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

○八月廿二日出使伏見上方へ参ル書

[illegible]

一

銀拾枚　内　[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

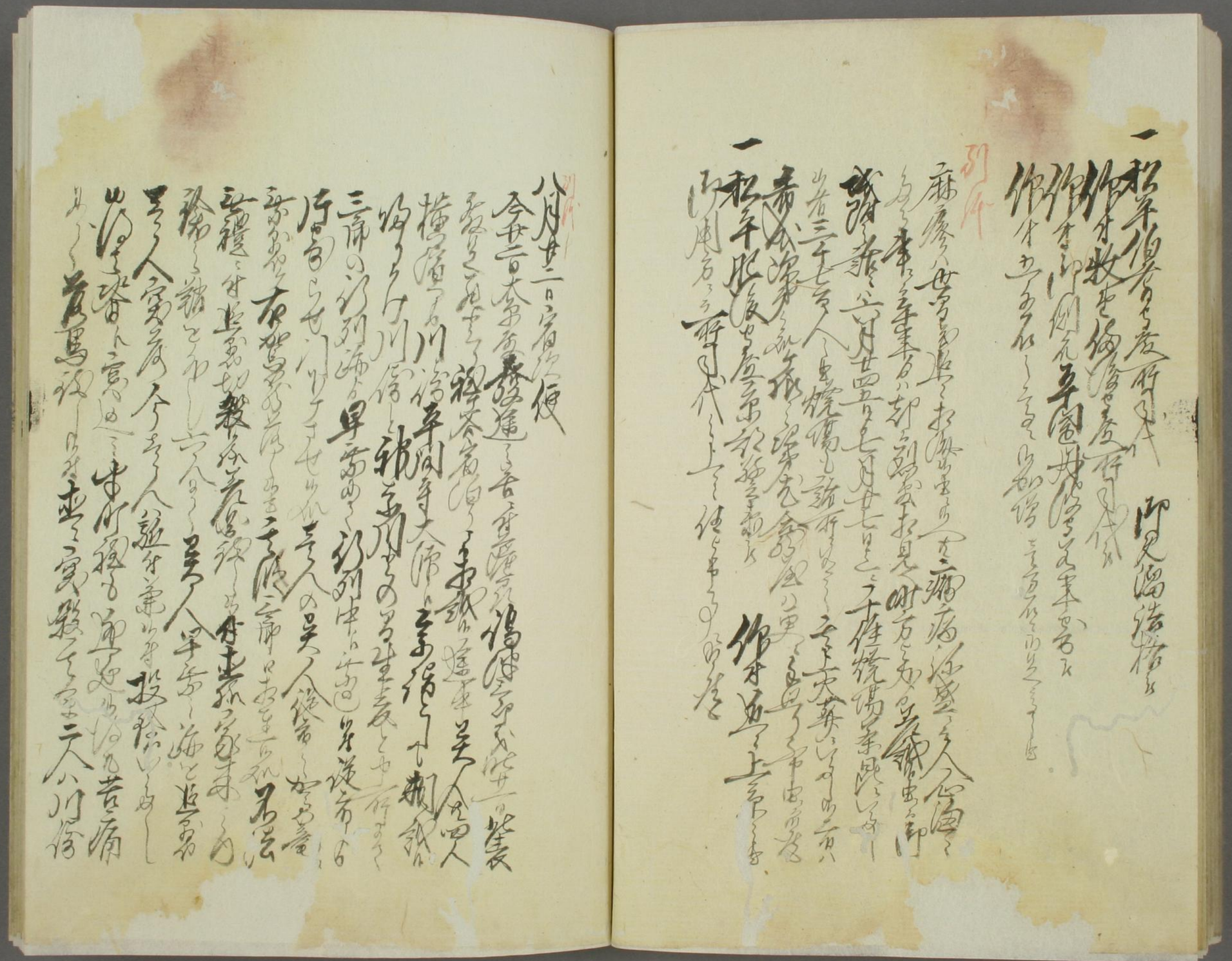
[illegible]

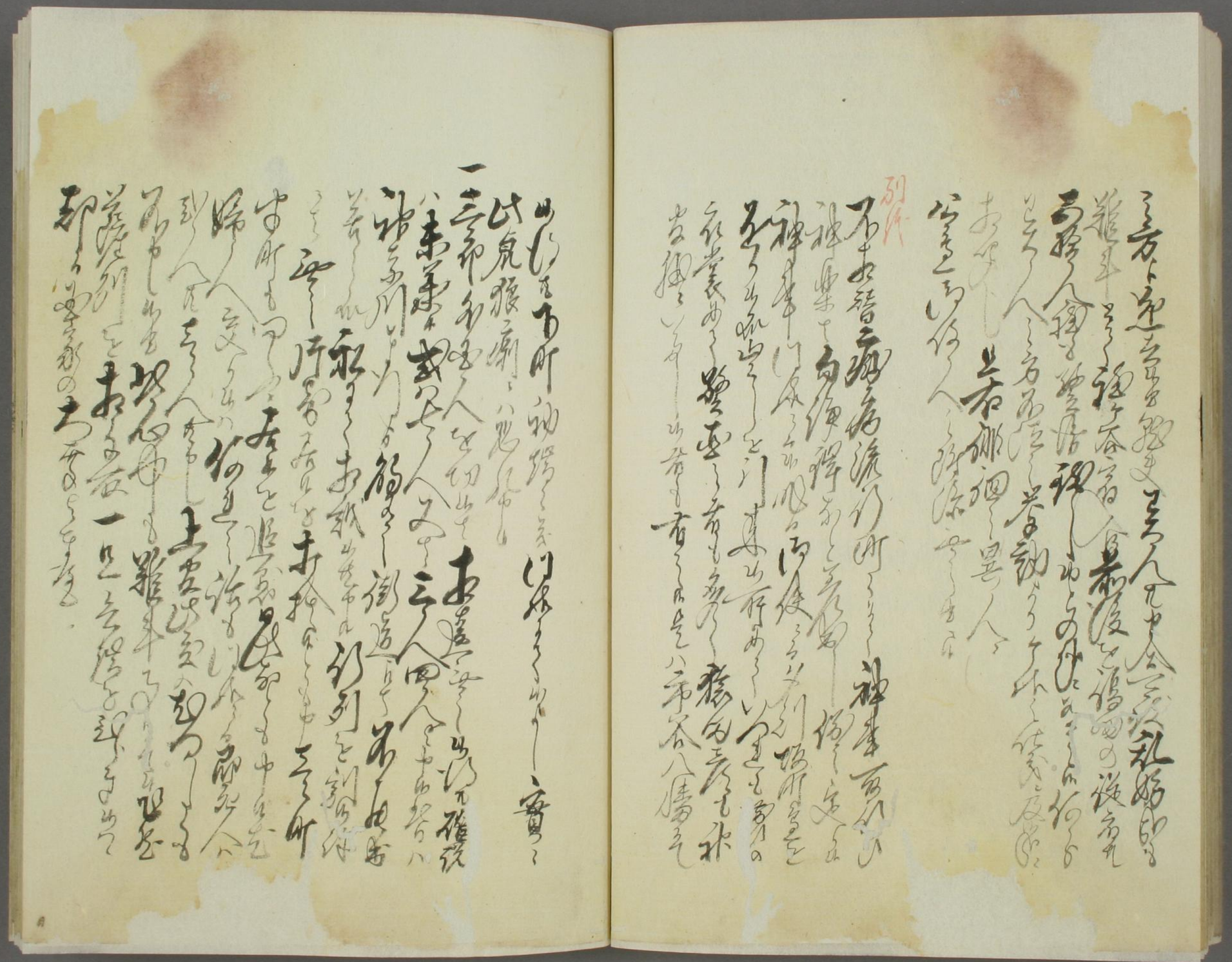
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]





[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

一 長州[illegible]

一 長州[illegible]

八月二日[illegible]

一 [illegible]

一 仙[illegible]

一 [illegible]

一 [illegible]

一 [illegible]

一 [illegible]

一 [illegible]

一 [illegible]

一 [illegible]

一 [illegible]

一 [illegible]

八月

○京師八月廿四日出来

一同年十月

勅使高倉八月十二日発足十四日

[illegible]

一八月十七日宮中[illegible]

[illegible]

一門跡山王[illegible]

[illegible]

一同廿五日久我内府[illegible]

右[illegible]

[illegible]

一[illegible]

一廿月廿五日延暦寺[illegible]

[illegible]

一廿八日　皇宮[illegible]

[illegible]

有栖川宮
青蓮院宮

泰音色　慶雲楽
央宮楽　仁和楽
太平楽　陪膳
陵王　新蛮利

延喜　長慶子

八月十六日

同

八月二日

同

同

同

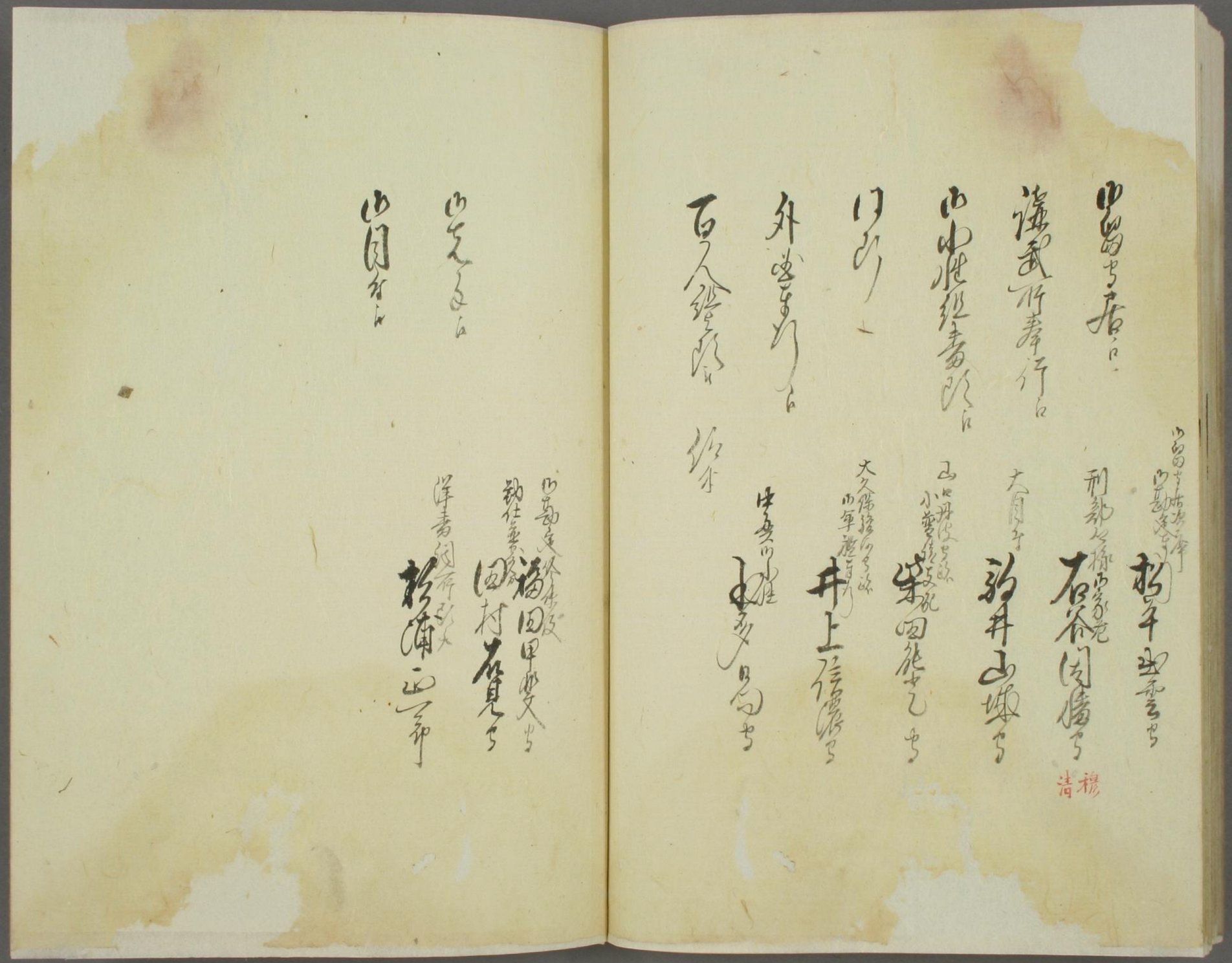
同人

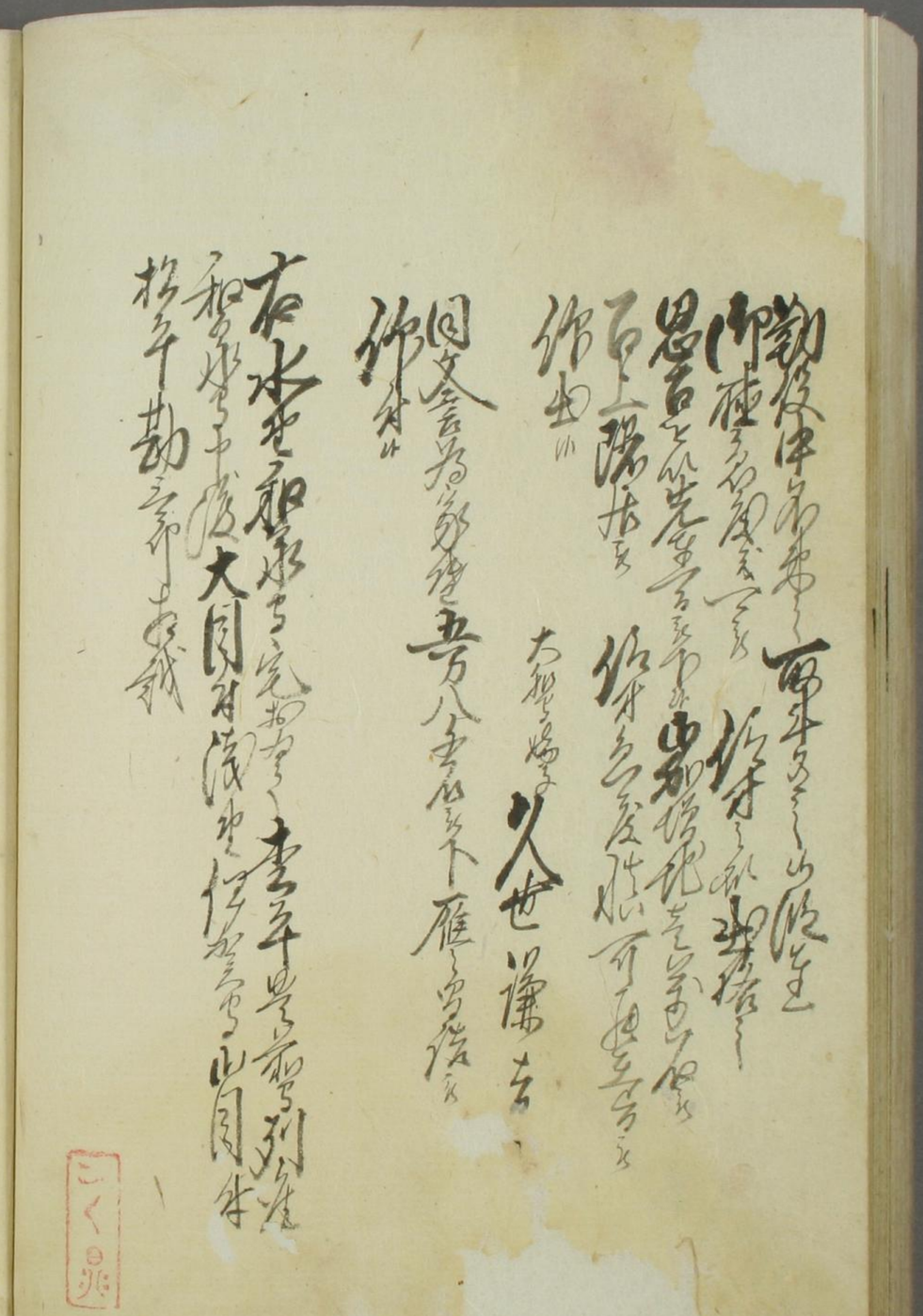
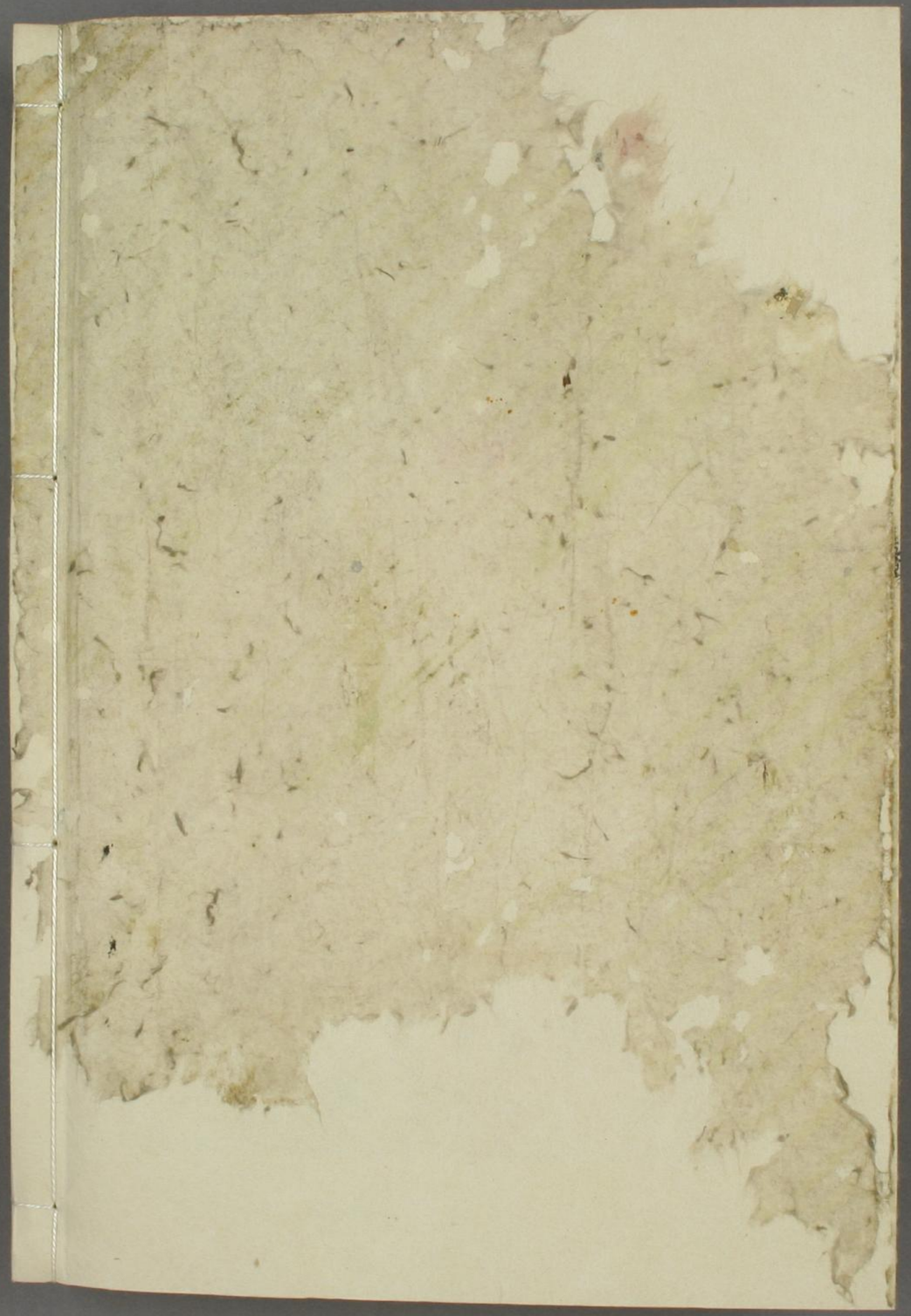
八月八日

八月十五日

八月十六日

八月廿四日



○八月十六日

勅使右馬頭藤原朝臣
御使右兵衛佐源朝臣
忠吉宿禰先達ニ村替ル
車上替ル
作者多良
樹島宮内卿
安藤樹馬守
信寿
代小堂沼部
作者
因天
作者
久世大和守
代小堂沼部